

日時：2023年10月4日(水) 9:30 集合場所：ブルーライン 吉野町駅 (11月8日予定から変更)

○中川駅 8:44→吉野町駅 9:21、中川駅 8:49→吉野町駅着 9:26 吉野町駅 4番出口 (地上出口のコンビニ前)
セブンイレブン

- ①吉野町駅→②お三の宮日枝神社→③堰神社→④常照寺(横浜の鬼子母神)→⑤吉田新田埋立頂点
(大岡川と中村川分岐点)→⑥蒔田公園(トイレ)→⑦中村川沿→⑧南区役所(トイレ)→⑨浦舟水道橋
(トラス橋)→⑩神奈川県埋蔵文化財センター(トイレ)→⑪中村八幡宮・測量水準点→⑫三吉演芸場→
⑬日本発石鱈所跡地→⑭三吉橋通商店街→⑮横浜橋通商店街→⑯金刀比羅大鷲神社(西の市)→
⑰大通公園→⑱桂歌丸桜→⑲平和記念碑→⑳坂東橋駅(解散) (4.2km)



横浜市南区 デジタル観光マップから抜粋

現在の大岡川と中村川に挟まれる釣鐘状の土地は入海でした。幕府の新田開発の奨励にこたえ、江戸の材木・石材商人、勘兵衛が1659～1667年で、大岡川を分離、中村川や水路を構築し 新田開発(35万坪)を完成。1669年に幕府は苗字帯刀を許し、「吉田新田」と名付けた。現在の吉野町、坂東橋、伊勢佐木町長者町、関内、馬車道など市の中心地。※吉田家子孫は、江戸から吉田新田に移り住み、地主としてまた、材木・石材商を経営。現在も横浜市内で吉田興産(株)、不動産会社などを経営されています。



①吉野町駅 昭和47年(1972)12月開設 2022年度 平均乗車人員 15,759 日/人
 国道16号線と県道21号線横浜鎌倉線(鎌倉街道)の交点 吉野町交差点の直下にある。



②お三の宮日枝神社 江戸時代寛文13年(1673)創建 市地域史跡

吉田新田の開拓者 吉田勘兵衛(1611~1686年75歳没)は新田完成6年後1673年、**新田の守護神**として、江戸の山王権現(日枝神社)を勧請、稲荷社を寛文13年(1673)に創建。関東大震災や横浜大空襲で被災、本殿は昭和31年に鉄筋コンクリート建立、拝殿は木造り。旧手水鉢は延宝2年(1674)製で、手水舎創建350年を記念して新設、鳥居は鎮座340年の平成25年(2013)に鳥居の上に合掌形の「山王鳥居」を建立。石燈籠は大正13年奉納(苦難除け)、**横浜随一の大神輿**(千貫神輿)は昭和9年(1934)製作(89年経過)。伏島君記念碑は昭和15年(1940)設置、招魂社は靖国神社の地方版の神殿。

・**狛犬**: **阿形(開口)の狛犬**は(戦捷)の**球型砲弾**と(子落し)タイプ、**吽形(閉口)の狛犬**は(祈念)の**椎実型砲弾**を抑えタイプで、日露戦争(明治37~38年(1904))の戦勝記念碑とし明治40年10月(1907)建立、昭和14年部分再建。狛犬が砲弾を抱えている神社は全国で5社。

・「お三の宮」由来①山王社→(山王宮)→(お三の宮)に転訛 ②吉田新田の難工事完遂を願って入水した「おさん」の人柱伝説など。伊勢佐木町の総鎮守。例大祭は横浜随一の大神輿(通称千貫神輿)は屈指の規模を誇っている。今年でお三の宮日枝神社は鎮座350年、例祭(9月敬老の日の直前の金土日)



③堰神社 お三の宮日枝神社の末社で、水に関する一切の事を守護する神として、大岡川の水の取り入れ口の大堰の傍らにあったが、後にこの地に遷座された。**堰と咳と同音**であることから**咳病に信仰**を集めている。堰神社と合祀の稲荷神社は五穀豊穰。神社内に道祖神、庚申塔は享保8年(1723)や子宝菩薩は昭和46年(1971)設置されている。



④常照寺(横浜の鬼子母神として有名) 縁日(毎月8日、18日、28日)

明治6年(1873)日蓮宗法華経寺。横浜に新たな仏教聖地として、江戸城大奥に安置されていた徳川家守護の鬼子母神をはじめ各御本尊像を受け創建した。山門(阿吽の仁王尊)から本堂に到るまで石段(59段)、途中の重玄門(持国天・多聞天)、本堂は関東大震災で倒壊し大正13年に再建。入母屋造り本堂屋根の正面に大千鳥破風板、その前下方は珍しい唐破風板の三連造りで飾り物が見事、木造り本堂は間口十二間半(22.75m)もある大本堂は横浜第一を誇る。 **鬼子母神**: 安産と子育ての神様、(虫封じ、安産、子授け、子育て祈祷)

日蓮大聖人像: 山頂には、昭和56年に常照寺山頂に700年の遠忌に建立、総丈10m大きな銅像、山頂からの景色はよいが、本殿から石段(130段)がキツイです。

・参道の上に京品急行南太田の駅があり、参道の階段の途中からはホームに止まっている車両の中が丸見えでした。



⑤吉田新田と埋立地の頂点 (大岡川と中村川分岐点)
1 頁目の説明と写真

⑥蒔田公園(約 2.3ha) 蒔田付近一帯は戦後進駐軍がのカマボコ型の兵舎などがあつた。昭和 31 年(1959)に返還され、昭和 34 年に一部蒔田公園。 ※地名の由来: 耩を直接耕地に蒔く農法からと言われている。



⑦中村川沿線

二級河川大岡川の支流であり、蒔田公園付近で大岡川から分岐し、山手地区の山の北側に沿うように流れ、横浜橋商店街、元町商店街、中華街などの繁華街や山下公園、港の見える丘公園、山下公園の観光地の横で東京湾に流れている。渋滞解消のため中村川の上に首都高神奈川 3 号狩場線を平成 2 年(1990)に建設。

・各橋の欄干にそれぞれ異なる照明が取り付けられている。



⑧南区役所 平成 21 年(2016 年 2 月)の横浜市立大学医学部浦舟校舎跡地に建設

昭和 18 年(1943)当時の中区は人口 40 万人の過密で、戦時下で情報伝達、物資の配給管理が徹底出来ないことから中区の南側部分を分離、さらに昭和 44 年(1969)年に南区の一部を港南区として分離。

2022 年人口 198,154 人(平均年齢 46.9 歳) 区面積 12.65 km²、横浜市区内の人口密度一位。 海拔 2.2m



⑨浦舟水道橋「トラス橋」明治 26 年(1893 年)製 (歴史的建造物)

中村川に架かる歩行者専用のトラス橋。イギリス製の鋼材を利用、ピン結合プラットトラス橋(部材どうしをピンで結合)の道路橋で、この構造の鉄橋としては日本で最古の橋。中村川の西之橋や翁橋に利用、3 度目に浦舟水道橋として平成元年(1989)再構築した。



⑩神奈川県埋蔵文化財センター（昭和57年(1982)建築）

神奈川県内の遺跡や出土品などの埋蔵文化財の保護、収蔵、管理、活用を行う公共機関である。
発掘・調査で発見された代表的な出土品を見学することや、資料についての説明などを聞くこともできる。



⑪中村八幡宮（創建年代不詳 901～923年？）例祭8月15日

江戸初期までは入江に面し、武蔵国の中村地区の鎮守で八幡大明神として祀られている。
社殿は関東大震災(大正12年9月1日)、横浜大空襲(昭和20年5月29日)で焼失、再建されたもの。
鳥居:明治21年(1888)建立、石灯籠:明治15年(1882)、左右の狛犬は(子落とし)タイプで明治33年(1900)建立、地蔵尊と庚申塔:元禄11年(1698)に造立で、中央の地蔵は横浜大空襲のため昭和59年(1981)造立。
関東大震災慰霊碑:大正12年(1923)は横浜大空襲による高熱のため上半身失っている姿や、境内社として吾妻稲荷神社、忠霊祠など設置されている。

・測量水準点（内務省地理寮水準点）「几(き)号高低標」（市地域文化財）

明治9年(1876)から水準測量で用いられた標識(几号高低標)と(水準点)が設置されている。市内で確認されている標識は7箇所、当時の地図と比較して測量三角点の位置が動いていないと言われている。
都内で44箇所(湯島天神、芝東照宮、富岡八幡宮、赤坂氷川神社、江戸城天守台など)に存在している。



↓「几(き)号高低標」



⑫三吉演芸場 昭和5年(1930)に草津温泉という銭湯の2階を貸席として始まった演芸場。戦時中は閉鎖、昭和25年(三吉劇場)とし復活、映画の隆盛期は「三吉東映」、その後テレビの普及に伴い存続の危機があったが、落語家桂歌丸師匠を会長に「三吉演芸場を残す会」が発足し、大衆演芸場として復活。平成10年コンクリート造に建替し。月曜休み、昼1時夜6時開演 入場料:2200円)



⑬日本最初の石鹸工場発祥地 明治6年(1873)創業 (現在は消火設備、子供の遊び場公園)

堤磯右衛門(天保4年(1833)~明治24年(1891)58歳没)は、磯子村役人を務める旧家の出身。横須賀造船所の建設時、日本人はぬか袋、フランス人技師は石鹸を使用していた。浦舟町に国内最初の石鹸製造所を明治6年(1873)に創業。洗濯石鹸、翌年には化粧石鹸の製造に成功、明治10年国内勸業博覧会で受賞。海外まで輸出、明治23年に優良国産石鹸の投票で一位を受賞。明治24年(1891)59歳で死去後は廃業。

※各地からの研修生に技術指導、多くの石鹸メーカーの技術を支え、大きな役割を果たした。

※「磯右エ門 SAVON」石鹸が復刻されている。※堤家の子孫は健在。(石鹸製造所と跡地は公園)



⑭三吉橋通商店街 中村川に架かる三吉橋と横浜橋商店街に挟まれたわずか60m程の短い通りに15件ほどの商店街。戦争で火災に免れ昭和古い街並みが残っている商店街。

⑮横浜橋通商店街 昭和3年(1928年)から商店街として発展し今年で95年目である。

平成5年(1993年)に商店街を改装、全長350mのアーケード街に約130の店舗がひきしめ合って、人情味ある横浜下町の商店街として賑わっている。韓国人の店舗も多い。

※桂歌丸師匠は横浜橋商店街組合の名誉顧問で、師匠の死後に「歌丸通商店街」に改名する動きもあった。



⑯金刀比羅大鷲神社 (かつては一带にあった遊郭の鎮守) (横浜市無形民族文化財)

・金刀比羅神社 安政6年(1859)横浜開港に伴い、港崎(みよざき)町(横浜スタジアムがある公園)の遊郭「岩亀楼」の主人(岩槻屋佐吉)が讃岐国から金毘羅大権現を勧請した。

明治5年(1872)に火災により遊郭と神社を高島町に移転、明治13年(1880)再度の遊郭を永楽町・真金町に移転、神社は明治15年(1882)真金町に移転。関東大震災と横浜大空襲で被災後仮殿再建、平成元年(1988)8月にコンクリート母屋造に再建した。・大鷲神社 金刀比羅神社を高島町に移転後、江戸吉原の「浅草鷲神社」に倣い、「お酉様」を金刀比羅神社の境内に勧請した。

金刀比羅神社と大鷲神社は別宮であったが、戦後に金刀比羅神社の相殿に祀られた。祭礼は浅草の酉の市と同様に11月の酉の日に行われ、横浜最大の「酉の市」として「開運守護・商売繁盛」の守り神として崇敬され賑わっている。 ※「酉の市」は福運を熊手でかき集める縁起物。

※佐藤佐吉(岩亀楼の楼主)は北品川で岩槻旅籠を営業していた。 ※遊郭は昭和33年「売春防止法」で廃止。



⑰大通公園 開園 昭和 53 年(1978) 昭和 48 年(1973)まで吉田新田内に存在した運河(新吉田川・吉田川)を埋め立て、地下鉄 1 号線が昭和 47 年 12 月開業し、地上部に大通公園が昭和 53 年(1978 年)に開園した。大通公園は坂東橋から関内方面までの帯状(約 1200m、幅 30m)の防災用地を兼ねた「緑の軸線」の公園として、彫刻やオブジェが整備され憩いの場になっている。



⑱桂歌丸桜 大通公園内に平成 23 年(2011)横浜橋通商店街創立 80 周年を記念して植樹された紅枝垂桜。天然記念物に指定されている福島県「三春の滝桜」(樹齢約 1000 年以上)の孫桜で、高さ約 9 m 樹齢 50 年～60 年と推測されている。

桂歌丸は、地元生まれの落語家で横浜橋通商店街名誉顧問でもあり、植樹祭に(当時 75 歳)出席し、「いつまでも元気に花を咲かせてくれるように、横浜橋通商店街とともに末永く可愛がって頂き見守ってほしい」と挨拶。「桂歌丸桜」と名付けられた。

※桂歌丸:昭和 11 年(1936) 8 月生～平成 30 年(2018) 7 月(81 歳没)。

桂歌丸桜



⑲平和記念碑 平成 4 年(1992) 5 月 29 日建立。

昭和 20 年(1945) 5 月 29 日「横浜大空襲」の爆撃は B29 五百余機、P51 百余機が 1 時間余りに 43 万発の焼夷弾等の投下により焦熱地獄の様相を呈し、市内で 8 千人以上が犠牲になり、30 数万人が被災した。特に中区、南区の被害が大きく市全体の 3 割以上の被害に及んだ。47 年後の平成 4 年(1992)5 月 29 日に、遺族会らによって「平和記念碑」が設置。除幕式に国際連合駐日代表、広島市長、長崎市長、県知事、横浜市長など多くの人々が参加。愛、平和、地球を象徴したブロンズ製のモニュメントと前面に書籍をかたどった碑文が刻まれている。



⑳坂東橋駅 昭和 47 年(1972) 12 月、2022 年度 平均乗車人数 21,424 日/人

戦後横浜市の商業の中心地であった伊勢佐木町の南西側に所在する、地下鉄建設に伴い吉田川・新吉田川が埋め立てられ 新吉田川があった坂東橋の場所に駅が造られた。



参考：南区の歴史:写真で見る南区がたどった 70 年の奇跡:横浜南区昭和むかし